

海洋開発科海洋技術コース ～能生川沿いの森林保全活動～

雨が降るとその水は土壌にしみこみ、そこでケイ酸や硝酸塩などの栄養塩類と一緒に
り、川へ流れ海に流れていきます。海に流れるとプランクトンの成長に必要な栄養とな
り、プランクトンが増えると魚が増えるというよい循環が生まれます。しかし、大雨が降
ったときに一気に雨水が川に流れでると漁場は荒れてしまいます。

ブナの森林は、多くの水その土壌に含むことができ大量の雨が一気に海に流れること
を防ぎます。そこで、ブナの森林を育てるために、植えたばかりの小さいブナの下草刈り
などの森林保全活動を行っています。



漁業を学ぶ生徒は山でも実習をします。



能生川の源流に近い権現岳の麓で植林活動と下草刈りをしています。